

令和2年8月提出

大船渡市議会議長
渕上 清 様

会派名 日本共産党大船渡市議団
団長 滝田松男

会派等視察報告書

視察先／視察項目

- (1) 令和2年7月17日(金) 盛岡市 アイーナ
講演「東日本大震災からの復興について」
講師 井上博夫 氏 (岩手大学名誉教授・2020岩手県地方自治
研究集会実行委員長)
- (2) 令和2年7月18日(土) 盛岡市 岩手県公会堂・水産会館・プラザ
おでって
2020岩手県地方自治研究集会
講演 「光り輝くさんりくを目指して～台風被害等を乗り越えて」
講師 中村一郎 氏 (三陸鉄道(株)代表取締役社長)
- 分科会 1 誰もが安心して住み続けられる地域づくりに向けて
2 住民が主人公の災害に強いまちづくり
3 全世代型の社会保障を考える～行政の役割は～
4 行政の委託化と憲法を生かす自治

視察参加者 市議会議員 滝田松男 山本和義 計2名

報告 (別紙のとおり)

研修内容報告

井上先生の講演

東日本大震災からの復興について

災害から救助し、避難所から応急仮設住宅へと移って行ったが、避難所はプライバシーの確保が出来ないなど劣悪な状態だった。応急仮設住宅は、事前に県とプレハブ協会とで協定が結ばれていたが内容は全国一律で、寒冷な東北地方では断熱工事など様々な追加工事を要した。北海道も九州も同じ協定で無理がある、現行はどうなっているか確認の必要がある。コロナウイルスなど感染症に対する取り組みなど避難所の設置は事前に準備が必要だ。生活再建支援金は300万円が変わらなかったが、東日本大震災を経験して改善できたことを踏まえてこれからはこう変えていくべきと提案して次に役立てることが大事だ。気仙地域でも地方自治研究会の発足に取り組むべきだと思う。

主催者から 1 地方自治研究全国集会の歴史と意義について 2 私たちをとりまく情勢と課題について 3 地域、職場での運動を発展させましょう の3点にわたり基調報告がなされた。

記念講演は、「光り輝くさんりくを目指して～台風被害を乗り越えて」と題して三陸鉄道（株）社長中村一郎氏が講演しました。三陸鉄道は、1984年に全国で一番長い第3セクター方式の鉄道会社として開業。以来、東日本大震災津波や2019年の台風19号により大きな被害を受けるなど、危機的な状況に何度も見舞われながらもあきらめることなく、復興に邁進してきた経過を多くの写真をもとに報告。また、社員一丸となって将来につなげる様々な企画が行われてきている事も詳しく紹介しました。

その後4つの分科会に分かれてそれぞれのテーマに従って参加者による意見交換がされました。第1分科会は誰もが安心して住み続けられる地域づくりに向けてをテーマに意見交換がなされ山本議員が参加、第2分科会は住民が主人公の災害に強いまちづくりがテーマで行われ滝田議員が参加。（内容省略）